

## 「つなみのひ」道徳学習指導案(中学年用)

- 1. 主題名**                    みんなで助けあって      2－(2)
- 2. ねらい**                    誰に対しても、どんなときでも思いやりをもって助け合おうとする心情を養う。
- 3. 資料**                      つなみのひ      (紙芝居)

### 4. 主題設定の理由

#### (1) ねらいとする価値について

この段階においては、相手の気持ちをより深く理解できるようになるため、温かい心とともに、相手に対する思いやりの心を育てることがいっそう重要になる。

相手の状況や、大変な思いをしていることなどを想像することによって相手のことを考え、一人でできないときは、他の人と助け合って行動することも大切なことである。

一人ひとりの気持ちに寄り添い、助け合おうとする心情を育てたいと、この主題を設定した。

#### (2) 児童の実態 (略)

#### (3) 資料について

大きな地震とつなみを経て、避難所での生活が始まったコタローたち。

けんかをするおじさんたちがいたが、原因は実は行方不明の子どもたちのことを思っていた。

また笛を吹いてみんなを励ますピッコロなど、自分の役割をしっかりと果たそうと仕事するものたち。皆、温かい気持ちを持っている。

その温かい気持ち、思いやりを感じ取らせて、ねらいに迫りたい。

### 5. 資料活用の工夫

中学年では、「親切」をねらいとする価値に据えた。指導上の中心は、相手を思いやる心である。

一番心に残った場面での話し合いでは、相手を思う気持ちを中心に話し合いを行い、ねらいへと迫りたい。

## 6. 展開

	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点・評価(☆)
導入	<p>1. 誰かと助け合った経験を発表する。</p> <p>○誰かと助け合って何かをしたことはあるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助け合って掃除をした。</li> <li>・転んでいる小さな子に、声をかけた。</li> </ul>	
展開	<p>2. 資料「つなみのひ」を視聴して、話し合う。</p> <p>①紙芝居をみて、一番心に残ったところはどこか。</p> <p>ア、小学校で、お医者さんや看護師さんが優しくしているところ。</p> <p>イ、おにぎりのことで、言い争っているところ。</p> <p>ウ、おにぎりを多くとったおじさんも、子どもたちのために多くとったこと。</p> <p>エ、みんなで島まで助けに行くこと。</p> <p>オ、コタローとポンタが、楽しそうに話しているところ。</p> <p>②どうしてそこが心に残ったのかを話し合う。</p> <p>ア、みんなが、大変なところで、優しくしているから。</p> <p>イ、こんなときに、けんかするなんて大人げない。</p> <p>ウ、おにぎりを多くとったのかなと思ったけど、それは子どもたちのためだったから。</p> <p>エ、仲間を迎えに行くために協力しているから。</p> <p>オ、早く元の海に戻ってほしいという気持ちがよくわかるから。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙芝居で資料を提示する。</li> <li>・自分が心に残ったところをしっかりとと言えるように、物語を少し振り返る。</li> <li>・なぜそこが心に響いたかを自分でいうとともに、友達との比較をする。</li> </ul>
	<p>3. 助け合うときの気持ちを発表する。</p> <p>○助け合うときってどんな気持ちだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のことを思っている。</li> <li>・小さな子だと助けてあげたくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を思いやって助ける行為をすることに気づかせたい。</li> </ul>
終末	<p>4. 教師の話聞く。</p> <p>○助け合った時の気持ちについて話す。</p>	